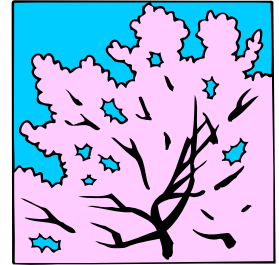


マルトミです

4・5月号 (隔月刊)

日頃のご愛顧に心より御礼申し上げます。



お知らせ

- ☆ このたびの東日本大震災で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。
上越では一部を除いて直接的な被害はあまりなかったようですが、なにしろあまりにも大きな災害であり、御家族や御親戚、御友人が被害を受けられた方もいらっしゃるかと存じます。皆様のご無事と一日も早い復旧をお祈りいたします。
- ☆ 平地では、4月に入って畑に残っていた雪もほとんどなくなりました。いよいよ春到来です。ただいま店舗ショールームでは、家庭用ミニ耕うん機や草刈機関係を中心に各種展示し皆様のお出でをお待ちしています。特典もいろいろありますので、ぜひお出かけ下さい。
- ☆ ショールームの水槽の生き物たちも、暖かくなって活発に動き始めました。メダカやドジョウ、タニシなどがすむ、懐かしい自然の景色をぜひご覧ください。

マルトミカレンダー (4月～6月) 赤色は休業日

4月							5月							6月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
					1	2	1	2	3	4	5	6	7				1	2	3	4
3	4	5	6	7	8	9	8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11
10	11	12	13	14	15	16	15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18
17	18	19	20	21	22	23	22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25
24	25	26	27	28	29	30	29	30	31					26	27	28	29	30		



株式会社 マルトミ

本社: 上越市西田中236-9(企業団地内)

TEL(025)524-1181 FAX(025)524-1184

E-mail: info@maru-takada.com

ホームページ www.maru-takada.com

当社の取扱商品ご紹介

マルトミは機械の販売と修理を主な業務としています。ご存じない方もおられると思いますので、取扱い内容を簡単にご紹介させていただきます。

農業機械



プロ用の大型機械から家庭菜園用のミニ耕うん機や電動の芝刈機まで、信頼できる一流ブランドの商品のみを選んで販売しています。高度な資格を持った専門のサービススタッフと一般修理ができる営業スタッフとの連携により、アフターサービス体制も万全です。

取扱メーカー： ヤンマー・ホンダ・共立・ゼノア・大島他

除雪機



ホンダ・ヤンマー・ヤナセ・共立・ワドー・ヤマハの除雪機を扱っています。家庭用の手軽なものから大型のプロ用タイプまで多数とりそろえ、もちろんアフターサービスも万全です。毎年、シーズン前におとくな事前点検の御案内をさせていただき、また、オフシーズン中のお預かりも致しております。

家庭用汎用製品

発電機・薪ストーブ・整水器・組立ガレージ等々、お役に立つ商品をいろいろ扱っています。



消防防災機器



消防署などの官公庁向けには大型機械も販売し、現在上越市と糸魚川市で活躍しているはしご車も当社で納入しています。

もちろん家庭用の消火器・火災警報器・避難用袋なども販売していますのでぜひご利用願います。



修理・整備関係

当社は県認定農業機械整備工場(大)・ヤンマー農業機械整備士工場・ホンダ汎用機ベスト特約店として、一般のエンジン機械の点検・整備・緊急の出張修理等、全てにわたり迅速、確実、低料金にて対応させていただきます。農業機械、除雪機はもちろん、それ以外の機械でもメーカーを問わず修理できますので、ぜひご利用ください。(但し自動車・バイク・建機等は除きます。)

また、部品についても迅速にご提供できますので、どうかご利用願います。



春のスペシャルデーを開催しました。

3月12・13日、恒例の春のスペシャルデーを開催しました。12日はちょうどあの地震の翌日だったため、正直心配もしていたのですが、好天にも恵まれ予想を大きく上回るお客様がご来場くださいました。なにかと大変な中をお出かけいただき本当に有難うございました。また、多めに用意したはずのご来場プレゼントも途中でなくなってしまい、お渡しできなかったお客様には大変申し訳ありませんでした。

今回は、春農機、ミニ耕うん機その他、除雪機とモキの薪ストーブのコーナーが人気で、除雪機は早くも来シーズン分のご予約をたくさんいただきました。

次回は7月9日・10日に夏の感謝祭を開催します。ぜひまたお出かけください。



住宅用火災警報器の設置はお済みですか。

平成16年に改正された消防法により、一般の住宅にも火災警報器の設置が義務づけられました。その後の猶予期間を経て、上越ではいよいよ今年5月31日が設置期限となります。

義務づけられている設置場所は寝室で、寝室が2階にある場合には階段の上の天井付近にも取付けることとなっています。上越の場合、台所や居間への取付けは任意で、義務ではありません。でも、設置義務のあるなしにかかわらず、ご家族の安全と命を守るためにも、必要と思われる場所にはぜひお備えください。当社では、取付けはもちろん、どこに付けたら良いかのご提案もさせていただきますのでお気軽にご相談ください。



ホーチキ製 住宅用火災警報器

単独タイプ 3,000円 (こちらで取付の場合、プラス1,000円)

煙を感知した警報器が単独で危険を知らせます。

無線連動タイプ 6,500円 (こちらで取付の場合、プラス1,000円)

1台が感知すると全ての警報器が一斉に危険を知らせます。

☞(社)日本火災報知機工業会のホームページより

赤—取付けが義務付けられている所 青—取付けをお勧めする所

2011年国内排出ガス自主規制値をクリアしたエコエンジンが登場！！

チェーンソーや刈払機など小型機械の多くは、混合ガソリンを燃料とする2サイクルエンジンが使われています。その2011年国内排出ガス自主規制に対応するため各メーカーとも新エンジンを開発していますが、そんな中で㈱やまびこから、いち早く規制値を大きくクリアした新型エコエンジン搭載の共立製品が一斉に発売されました。低排出ガスと低燃費を実現したクリーンで経済的な共立の「EKO マーク」付製品をぜひお選びください。



ムラサキウニとバフンウニ

「私はウニが好きです」と言うと、たいていの人は「私も好きです」と答えてくれます。でも、ウニを蒐めていると言うと、今度はげげんな顔をされてしまいます。そもそもウニなんか集めてどうするのと思われる皆さんのために、食べるだけではもったいない、ウニのもうひとつの楽しみ方をご紹介します。

海岸の砂浜を歩いていて、貝がらとは違う丸い殻のようなものを見つけたことはありませんか。それは、死んで打ち上げられ棘が抜け落ちたウニの姿です。ぱっと見てそんなに美しいものではなく、最初は私もあまり興味がありませんでした。でも10年ほど前、インターネットで外国の貝がらの店のカタログをながめていて、白地に紫とオレンジのパステルカラーで彩色された小さなウニ殻が目にとまり、てっきり工芸品だと思ったそれが自然のままの姿だと知ったときから私のウニコレクションが始まりました。国内産・国外産を問わず集めてきて、これまでに60種類ほどが集まりました。ウニは棘がある状態でも面白いのですが、その殻となるとまさに千差万別で、一つ一つが個性的な魅力にあふれています。この辺で見られるウニも、きれいにクリーニングしたらとても美しいことがわかりました。そんなウニ殻を、皆さんも作ってみませんか。

ウニ殻を作るには、まずウニを手に入れなくてはなりません。鮮魚センターで棘付きの生きウニを買ってもいいのですが、自分で採った方が楽しいでしょう。この辺だと鯨波がおすすめですが、岩の多そうな海岸にでかけ、浅いところで岩の隙間や石の裏側を探すと生きたウニが見つかります。大型で棘の長いムラサキウニや小型で棘の短いバフンウニが採集できるでしょう。採れたウニはそのまま日に干して乾燥させ、半乾きくらいになったら軍手などしてこするようにしてできるだけ棘を取り除きます。それから漂白剤(キッチンハイターなど)のちょっと濃い目の液に漬けておくと、数時間で取残しの小棘や表面の薄皮がとれて殻がきれいになり、同時に底の中心部分が抜けてきます。そこから内臓部分を引っ張り出して中をきれいにしてから、またしばらく液に浸けておいて、表面の汚れがなくなったら取り出して、水でゆすいでから乾かせばできあがりです。ただ、こう書くと簡単そうですが、ウニの殻はとてももろくて壊れやすく、さらに小片が繋がり合った構造になっているため漂白液に長く浸けすぎるとバラバラに崩れてしまいます。汚れがきれいにとれて殻も壊れないタイミングで漂白液から取り出すことが美しいウニ殻を作るコツです。



外国産のウニ殻いろいろ



ムラサキウニ (左) とバフンウニ (右)

できあがった殻は、いくつか並べたらとてもすてきな部屋の飾りになります。なにしろ、これほどきれいな丸い形は自然界にはなかなか存在しません。淡いパステルカラーの色調と相まって、ながめていると心が癒されるようです。皆さんもぜひお試しください。(ミ)